



# 世田谷稲門会会報

平成27(2015)年4月20日

## 第 58 号

会明一 一夫子次行男子  
稲門吉 俊浩邦信利秀昭俊  
世田谷 田並口島子原内林巢  
谷横 榎小寺兼江大若鷲  
行人集  
発行編

事務局  
神奈川県川崎市中原区新丸子東  
3-1100-12 M2209  
TEL/FAX 044-433-9202  
林 馨 (はやし かおる)

### 世田谷稲門会第24回定時総会開催

#### 女流プロ棋士の青葉かおり氏が講演

6月13日(土)午後5時より  
主婦会館プラザエフにて



青葉かおり四段  
写真提供：日本囲碁院

世田谷稲門会の第24回定時総会が主婦会館プラザエフ(JR・東京メトロ四ツ谷駅下車、徒歩1〜3分)にて午後5時から開催されます。

講演会は早稲田大学出身で期待の女流プロ棋士・青葉かおり四段に「女流棋士の頭の「中」と題してご講演いただきます。

### 青葉かおり氏の経歴

#### ●プロフィール

昭和53年7月11日生。愛知県出身。羽根泰正九段門下。

早稲田大学卒業。

平成8年入段、日本棋院中部総本部に所属。10年二段、11年三段、14年四段

平成20年5月、日本棋院東京本院に移籍

平成16年4月から2年間「NHK杯テレビ囲碁トーナメント」の聞き手を務める。

平成17年11月〜23年4月まで、日本棋院携帯サイト「碁バйлルセンター」で、「青葉かおり」の from 名古屋だぎや」を連載。

#### ●棋戦主要履歴

平成18年：第1回広島アルミ杯若鯉戦本戦入り

#### ●囲碁関連受賞履歴

平成14年：通算100勝達成  
平成17年：テレビ囲碁番組制作者会賞受賞

総会の詳細については同封の別紙「第24回定時総会のご案内」をご参照ください。

是非皆様のご出席をお待ちしております。なお、当日ご出席いただけない場合は、同封の委任状(返信用はがき)にご記入・ご署名のうえご返信くださいますようお願い申し上げます。

総会の会費は8000円です。

### 新春懇親会開催

#### 瀬古利彦氏が講演

平成27年2月7日(土)、恒例の新春懇親会が三軒茶屋のキャロットタワー26階「スカイキャロット」にて開催された。

近隣稲門会、世田谷三田会など講師・来賓を含め121名が出席し、山田昭さん(昭50政経)の司会で開会した。

第一部は横田吉明会長の挨拶に続き、往年の名ランナーで現在DENARランニングクラブ総監督、瀬古利彦氏(昭55競走部卒・本人談)の「心で走る」と題した講演が行われた。

恩師中村清監督に心酔したいきさつやライバルである宗兄弟とのレースにおける駆け引きなどの体験談が語られた。

時々出席者に問いかけるなど、軽妙でユーモアを交えた楽しい講演だった。最後に紙で作

られた金メダルを首にかけ、オリンピックで金メダルは取れなかったがこれまでの頑張りに対し、当時2歳の息子がこれを贈ってくれた。「本当に嬉しかった」とアスリートの顔からよきパパの顔になっていったのが印象的だった。

第二部は鈴木宏治副会長の挨拶、来賓代表の元村勝嘉大田稲門会会長の挨拶、岩上健一前会長の音頭で乾杯のあと和気藹々の懇談に入った。

恒例の福引抽選会も行われ、和やかな雰囲気の中、締めは女性初の応援部リーダー・木暮美季さんのリードで応援歌「紺碧の空」校歌「都の西北」を斉唱し、宴の幕を閉じた。

(戸田 昇/記)



講演する瀬古利彦氏



横田吉明会長挨拶



応援部リーダー  
木暮美季さん

戦後70年特集企画 終戦前後の早稲田と私

第1回「航空隊入隊―乗る飛行機もなし」

角田真一郎（昭22高師）

今年（昭和20（1945））の終戦から70年となります。当時の早稲田を知る方々からお話を伺いました。数名の方々と連載の予定です。

第1回は昭和22年卒の角田真一郎さんです。当日は雪もちらつく寒い日でしたが、豪徳寺境内近くの閑静なご自宅で奥様と共に暖かくお迎えいただきました。（1月21日取材）

真珠湾攻撃の頃

私は大正13（1924）年生まれです。中学に入学した昭和12年に日中戦争が始まりました。15年、バスケットの中学校全国大会で優勝しました。しかし徐々に軍事色が強まり、翌16年には軍用車両確保のため「団体移動禁止令」が出され、以後、全ての大会・旅行は禁

止となりました。前年度優勝校は推薦で出られたのにと、悔しい思いをしました。

同年12月には、ハワイの米太平洋艦隊に対する日本海軍の攻撃が行われ、アメリカを

はじめとする連合国との全面戦争が始まりました。真珠湾では、航空機による攻撃が知られています。その時に小型潜航艇による突入も試みられていました。しかし真珠湾内まで到達した潜航艇は1隻もなく、失敗して座礁し、1名が捕虜になりました。

入学早々、空襲に遭う

スポーツが得意だったので体育の先生になりたいと思いましたが、体育だけを専門とする学校には行きたくなかった。昭和17年に早稲田大学高等師範部体育科に入りま

した。同級生は40名でした。体育専門学校に負けまいと、みんな一生懸命勉強しました。

入学早々、4月18日にB25爆撃機による第1回東京空襲があり、大隈講堂、

早稲田実業と近くの印刷所や喫茶店などが焼けて、早実の学生が1人、犠牲になりました。爆撃機は現在の文学部方向から来て高田馬場方向へと抜けて行きました。高度100メートルくらいの低空飛行なので敵兵の顔まで見え

ました。早稲田では昭和16年から繰り上げ卒業、そして入隊が始まっていました。学徒動員という、昭和18年に神宮球場で行われた土砂降りの中の壮行会が有名ですが、すでにその2年前から、おおぜいの先輩たちが前線で命を落としていたことはあまり知られていないようです。

海軍航空隊に入る

結局、勉強できたのは二年生の前半までで、後は勤労動員で日本鋼管の寮に泊まり込みとなりました。

その頃、自分たちは25歳までには死ぬものだと思っていました。どうせ死ぬなら飛行機に乗って一瞬で死んだ方が、海で溺れたり、陸で苦しんだりするより楽かと思いい、19年に試験を受け、海軍予備生徒となりました。

海軍入隊後、滋賀県の航空隊に配属され、6カ月の訓練を受けました。訓練といっても飛行機もなく、何かという

と連帯責任だといって殴られる「いじめ」に等しいひどいものでした。

訓練終了後の20年3月、土浦に配属されました。直後に東京大空襲があり、死者10万人にのぼりました。

少尉候補生、流浪の日々

その後は少尉候補生として、館山、茅ヶ崎、大分とめまぐるしく赴任を命じられ、まさに流浪の日々でした。8月11日に大分に一人で行ったのですが、途中、原爆にやられて列車も止まっていたはずの広島をどうやって通過できたのか全く記憶がありません。

もう終戦となっていた8月18日に出雲大社航空隊への赴任を命じられて行きました。着いてみると現場は混乱して、自暴自棄になって火薬を持ち出して爆発させたり、兵舎を壊したりする者もいました。

そんなわけで、航空隊といっても、自分たちが乗るべき飛行機はとつくになくなっており、あちこち移動させられただけで、とうとう一度も飛行機に乗らずに終わりました。

復学、卒業後は体育教師に

20年の11月に復員、そして21年の3月に大学に復学しましたが、そこら中に軍服姿が闊歩していて、学内の雰囲気

は最悪でした。復学できた者は40名中15名でした。まだ復帰できていない先生も少なくありませんでした。

大学の建物はあちこちが壊れたままで、3、4階が壊れた校舎の1、2階を使って授業を受けました。

学生食堂も開いてはいませんが、カレーライスといっても飯ばかりでした。外食券を持って近くの食堂で食べることもありました。「高田牧舎」のカレーは30銭でしたが、美味でした。「稲穂」でもよく食べました。昨年の稲門祭の帰りに寄ってみた「稲穂」がなくなっていたので残念でした。

翌22年に卒業、私立女子中・高校の体育教師となりました。私と同様、体育教師となった者は5名です。昭和33年、大学の体育局に戻り、以後、平成7（1995）年、所沢の人間科学部スポーツ科学科で定年を迎えました。

軍隊には入りましたが、戦場には行かずに終わりました。わずかに2、3年の差で亡くなられた多くの方々には申し訳ありませんが、正直言って「死なずにすんだ」というのが偽らざる実感です。

（インタビュー・鷺巣俊子）  
（写真撮影・榎並俊一）



「飛行訓練はグライダーだけ」と語る角田真一郎さん

# ラグビー早明戦 応援実現の由来

岩上健一(昭36法)



実現できるのは君だ

早稲田大学応援部監督就任間もない頃だった。コンバットマーチを作曲し応援部の監督を務められたこともある、三木佑二郎氏から電話がかかってきた。平成10年2月のことである。「ラグビーの早明戦で応援が実現するかもしれない。野球の早慶戦も観客動員が減り野球の応援が盛り上がりえない今、新しい応援方法を編み出すにはラグビーの応援、早明戦しかありません。国立競技場が6万の人でいっぱいになることで、お花畑のように華やかな応援を展開したら、何と素晴らしい事が、それを実現出来るのは現監督の貴方だ」と僕の心を揺さぶ

る熱い語り口であった。そして当時早稲田大学ラグビー部幹事長であった鈴木辰さんを紹介された。「あとはいよいよ」ということだ。これまでの考え方を打破

この熱い三木節に心動かされラグビー応援実現に向けての努力がここから始まる。かつて、先輩達がラグビーに応援を実現しようと努力したが、故大西鉄之祐教授(ラグビー部監督でもあった)が「ラグビーに応援は必要ない」という強い考えをもっておられ、応援の実現を阻んできた。その考えが未だにラグビー部に浸透しており、これを打ち破るのが大変だった。

ただ鈴木幹事長が当方を理解し、味方についてくれたのが幸いだった。そして明治や慶応のラグビー部のOB役員方を紹介してくれた。勿論両校の応援団、応援指導部のOB役員をもまきこんだ。そして会議を重ねるうちに明治応援団OBクラブ中村幹事長からこの実現に向けての全体コン

トロールを是非、早稲田にお願いしたいとの要請をうけた。この要請をうけて早慶明のラグビー関係者に積極的にアプローチを開始した。僕の嘗ての勤務先の先輩でオールブラックスとの試合に全日本のメンバーの一員として活躍したこともある宮原英雄さん(立教大学時代はキャプテン。今は故人)からも色々ご支援いただいた。

全早慶明でトライアル

当方と慶明関係者と熱心な折衝を繰り返すうちに、相手方から本番の試合で取り入れる前に、マイナーではあるが、全早慶明の試合でトライアルをして貰い、結果を見て本番の試合に取り入れたい、と言う回答を貰ったが、慶応はラグビーに応援は必要ないというかたくなな姿勢を崩さなかった。

その後毎年、横浜国際競技場、秩父宮、駒沢でトライアル応援を続けた。観客の少ない競技場で、応援部員達はひるまず一生懸命だった。そして部員達のこうした地道な努力が認められ、平成12年12月3日の本番早明戦でついにラグビー応援が実現したのである。

本番で実施、涙止まらず

当日のサンケイスポーツには次のように書かれている。

## 世田谷ぶらさんぽ 第1回

本名は「世田谷山観音寺」という。三軒茶屋から徒歩 15～20 分、三軒茶屋と祐天寺のほぼ中間の閑静な住宅地に位置する。敷地は大して広くないが 4 つのお堂には数多くの仏像が安置されており、興味のあるかたにはたまらないスポットだ。昭和 26 年に睦賢和尚が建立した。メインの観音堂には聖観世音菩薩が安置されている。この仏様はかつて三重県の興昭寺の秘仏だったものを当山にお迎えしたものの。別名を「施無畏者」といい我々の怖畏心(恐怖心)を取り去ってくれる菩薩である。また日光・月光菩薩や龍神像、マリア観音も安置されている。お堂はその他に六角堂、阿弥陀堂、特攻観音堂がある。特攻観音堂には国のために若き命を捧げた 4615 柱の英霊が安息している。正面玄関には仁王門があり、中には金剛力士と鳴き龍がある。また仁王門の手前左には世田谷観音本坊(旧小田原藩代官屋敷)が配置されている。

【アクセス】  
渋谷駅からは[渋32]系統、三軒茶屋/祐天寺/目黒駅からは[黒06]系統の東急バスに乗り、「世田谷観音」バス停で降り徒歩1分



世田谷観音 特攻観音堂 特攻観音

### 世田谷観音

「史上初の応援団、チアリーダーも競演」。人気凋落が叫ばれて久しいラグビーだが、この日は5万1千人の大観衆が入り、関東協会も一安心、「天気心配だったが昼過ぎまで晴れ間も見えたのがよかった」と貴島健治理事長、ファンサーピスの一環として早明戦史上初めて両校応援団とチアリーダーも登場し試合前にはエールの交換で両校がスタンドに響いた。ハーフタイムにはチアリーダーが競演した。この試合で早稲田が明治を破り優勝した。試合終了後、応援部員達と肩を組み校歌斉唱時、色々な事がこみ上げて来て涙が溢れ止まらなかった事を思い出す。

## ブロック会だより

### 西北

#### ○「第34回西北会例会開催」

平成26年12月14日(日)17時より「第34回西北会例会」をNHK青山荘で28名の参加を得て開催。柏良子代表より挨拶の後、講演会を実施。講師の吉村善智氏は柔道部から落語研究会に転身。最近では“花柳界”に浸って5年間、「円山芸者の心意気―渋谷花街の今昔―」と題して講演するほどの入れ込みよう。渋谷円山町の芸者は最盛時400名を擁していたとのこと。軽妙な話の合間に“清元節”の小糸すず師匠の唄と三味線に、美人芸者みよしさんが見事な花柳流の踊りを披露。そのあと都々逸あり、長唄ありでまるでお座敷遊び。講演会を終え下條敏彦氏の乾杯の発声で開宴となってもお座敷はまだ続く。吉村講師他前原、土倉、岩上、熊本の4氏に内藤娃子さんなどが次々と飛び入りで謡などを披露。まさに正月の先取り。若林克彦氏から楽しい西北会をいつまでもと再会を約して散会した。



#### ○「恒例の“初詣・新年会”実施」

平成27年1月7日(水)17時から18名の有志が北澤八幡神社に集結し初詣を実施。会員の矢島嗣久宮司から祈祷を受け、その後下北沢の「天華」で新年会。横田吉明会長から大学・地域への貢献など本部分針説明並びに乾杯の発声で一気に宴会モード突入。

(桃井 清治 / 記)

### きぬた

平成26年度、第3回目の行事を3月14日(土)に、講演と懇親の夕べとして新日鐵代々木倶楽部にて開催いたしました。当日は本部から横田会長、島田幹事長が出席され、総勢20名の方々に参加いただき盛会となりました。

講演は当会会員で仏語通訳・翻訳家の北垣法子氏(昭43第一文)にお願いし「ウクライナで思うこと。」というテーマでお話をいただきました。仏日刊紙「ルモンド」の記事を中心に丁寧に取材された資料を基に、ウクライナの歴史や最近起きている出来事背景等分かりやすく解説いただきました。社会的に関心も深く、タイムリーな内容であったこともあり、非常に感懐深い講演となりました。

懇親の宴に移ってからも話題は尽きず、大変楽しいひとときを過ごしました。来年度につきましても、年3回の予定で楽しい行事を企画して行きたいと思っています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(畔上 孝夫 / 記)



### 玉川

平成27年2月15日(日)正午より、恒例の玉川会新年会を田園調布倶楽部で開催しました。本部から横田会長と柏顧問お二方のご出席を頂き、出席者は会員31名、夫人11名、女性会員のご主人1名(準会員)の計45名と、昨年の新年会と並ぶ玉川会イベントで過去最多の参加者でした。司会は、昨年に続き世話人の林さんが務めました。

食事はイタリアンのコースですが、料理は大変美味しく、毎年皆さんから好評をいただいています。田園調布の住宅街にある名店で、優雅で落ち着いた雰囲気の中で料理を堪能しました。スピーチは井山さんをお願いしました。脳ドック受診の体験談と仏像彫刻に関する含蓄溢れるお話がありました。今年の余興は、河津さんによる歌の披露でした。地元の奥沢駅前音楽祭、自由が丘女神まつり等色々なライブステージに出演しているプロのシャンソン歌手です。デザートタイムで席替えを行い更に交流を深め、会は益々盛り上がり、楽しい一時となりました。

(太田 隆 / 記)

平成26年11月18日(火)、恒例の玉川会ゴルフ会を千葉のデイスターゴルフクラブにて開催しました。当日は好天に恵まれ、和気藹々とした1日を過ごしました。帰路のバスの中で、優勝者の小林宏さんの挨拶に始まり、全員からスピーチを頂きました。小林さんのスピーチで、練習場所やレッスンプロ(元女子プロ)の指導方法が大きな話題になりました。ニアピン賞を、2ホールとも女性が獲得したのが印象的でした。

(高橋 義幸 / 記)



## 千歳

今回、春と秋に定例の懇親会を開催しています。平成27年の第1回目は4月4日(土)に開催しました。

千歳会の中にも趣味の会を設けるか検討していますが、この数回はウォーキング・見学会を行ったあとに懇親会を催しています。

今回も、9名が午後2時30分に小田急線・代々木上原駅に集合し、古賀政男音楽博物館見学～東京ジャーミイ(日本最大のイスラム教モスク)見学～玉川上水暗渠～京王線・笹塚駅まで約1.5kmを歩きました。

「古賀政男音楽博物館」は数々のヒット曲を生み出した古賀政男の展示だけでなく、日本の歌謡史に関する資料も展示されており、懐かしく見学しました。

東京ジャーミイでは伝統的なオスマン・トルコ様式の建築美や素晴らしい装飾の数々に感嘆の声が上がっていました。早稲田大学出身の責任者に説明を受け、イスラム教について正しい理解が必要だということを知りました。午後5時から京王線・下高井戸「旭鮎総本店」にて、横田会長、島田幹事長にもご出席いただき、総勢21名にて懇親会を開催しました。

千歳会は会員数は7ブロックの中で最少ですが、毎回出席率が高く、和気あいあいの宴を楽しんでいます。

(戸田 昇/記)



## けやき

平成26年11月14日(金)第8回けやき会ゴルフコンペが9名の参加を得て武蔵松山カントリークラブで開催されました。6月のコンペが大雨で中止になり、一年振りのゴルフ会となりました。大雨で流れた分を取り返すような素晴らしい天気恵まれ、ハンディに基づく熱戦が繰り広げられました。

優勝は旭正勝さん、2位は斉藤正憲さん、3位は森昌治さんでした。上位3名はハンディが減りますが、下位2名は逆に増えます。次回コンペでの巻き返しが期待されます。恒例のゴルフダービーは参加者が少ない中、唯一の2人枠となったゾロ目を当てたお二人が獲得されました。(お二人とも自分を買っていました!)ゴルフダービーを始めて4回目ですが、毎回別の方が獲得するという、公平な結果となっています。

次回第9回コンペは来月5月29日(金)大厚木CC本コース東スタートで開催されます。けやき会会員以外も大歓迎です。是非ご参加頂きますようご案内申し上げます。

(工藤 隆司/記)



## キャロット

平成26年11月29日(土)午後5時から三軒茶屋のキャロットタワー26階の「スカイキャロット」で横田会長をお招きして立食形式のキャロット会の忘年会を開催しました。

キャロット会の出席者は青木明彦、井口昭、奥田隆、風間穰、西喜永治、下山芳男、堤達也、富塚兆弥、中井盛久、萩原健、花田玲子、原貴則、東直彦、星野裕、御園生勇、森昌治、守谷之男。18名の参加者は世田谷の夜景を見ながら和気藹々と懇談致しました。

平成27年5月1日(金)「シアターラム」にて午後6時開演「稲門寄席」を開催します。

懇親会を5月17日(日)午後5時から三軒茶屋の「燕来香」で開催します。

忘年会は11月29日(日)午後5時から池尻大橋の「オステリア ポーノ」で開催します。

(富塚 兆弥/記)



## さくら

さくら会は年2回の懇親会を4月と10月に開催しています。4月5日の懇親会は三軒茶屋の銀座アスターにて午前11時30分より午後2時まで行われました。

まずは開会の挨拶及び乾杯に続いて中華料理のフルコースを楽しみました。宴たけなわの間には、希望者によるそれぞれのスピーチと全員に景品の当たるビンゴゲームを楽しみ、最後は記念写真の撮影と都の西北を声高らかに斉唱して解散となりました。

尚、今後の懇親会には外部からの協力を得て、例えば、振り込め詐欺への対応や救急処置等の講演をしてもらうのも有意義なのではと考えています。

(江原 利次/記)

## 部会だより

### 地域サポート活動

この度、地域貢献活動部会の名称が、『地域サポート活動部会』と決まりました。地域サポートと言っても、狭い意味の地域—たとえば世田谷区に限るのではなく、東京都、日本、世界と広げていけるような夢は持っていきたいと思っています。現在発起人は8名です。

代表世話人も決定しました。レディースクラブの副代表世話人（ファミリー会員代表）寺澤宣子さんです。寺澤さんは個人的にもボランティア活動で世田谷区内を中心として活動されています。

最初の活動として、児童養護施設を退所した、あるいは入れない子供たちを支援している団体への寄付を考えています。ご承知のように児童養護施設は、親の居ない子供、親の虐待から逃げ出した子供（今はこの方が多いそうです）たちが生活し、教育を受ける施設ですが、18歳になると退所するのが決まりです。退所後の生活はどうするのか。高校在学中の子供は最初の給料までどうするのか？ましてや大学進学を希望してもそれを支援するシステムになっていないのです。現在、部会では、東京近辺の支援団体を候補として詳細を詰めています。寄付先が決定すればお知らせします。

これから、世田谷稲門会総会・各ブロックの懇親会・部会等に地域サポート活動部会のメンバーがお邪魔して募金をお願いし、一定額になったところで寄付を行います。募金の状況はホームページや会報で報告し、ガラス張りの運営を行っていきます。また、地域サポート活動部会専用の銀行口座を下記のように開設しました。

みずほ銀行烏山支店 普通口座 1325865 世田谷稲門会地域サポート活動部会  
(募金専用の口座で世田谷稲門会口座とは異なりますのでご注意ください)

ブロック会・部会での募金或はブロック会・部会からのお振り込みは団体名を公表します。個人の方からの募金は原則としてお名前を公表しますが、匿名をご希望の方はその旨お申し出ください。

実際の募金活動は、会員の皆様がこの記事をお読みになった5月に入ってから行う予定です。

どうぞご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、地域サポート活動部会への募金は、寄付控除の対象とはなりませんのでご承知おきください。

ご意見・お問い合わせは担当窓口の林馨、又は篠崎章子までお願いします。(林 馨 / 記)

### 青年

平成27年3月4日(水)、渋谷マークシティ内の「菜な」にて、青年部例会を開催いたしました。

年度末の忙しい時期でしたが、島田幹事長を含む5名の世田谷稲門会幹事にもご参加いただき、総勢17名の懇親会となりました。今回は坂井宏爾さんと荻野健司さんのお二人が初参加。



ともに政治の世界を目指されていて、青年部にまた躍動的な新しい風が吹いてきそうです。また北九州に転居された神谷さんが上京して来てくれたことも嬉しいことでした。

今回のお料理は、「和食」のリクエストを反映して「京都おばんざい」のお店に。関西風の上品な料理の数々は目にも舌にも楽しく、個室の落ち着いた雰囲気の中での和やかな交流の場となりました。お酒がだいぶすままれていた方もいたようです。次回の例会は7月頃を予定しています。参加者20人越えを夏こそは、と思っておりますので、次回もみなさまのご参加を楽しみにお待ちしております。(日下野 由季 / 記)

### 麻雀

今回の麻雀部会のご報告は少し趣向を変えてお話をさせていただきます。

麻雀部会の男性は多分殆ど学生時代から麻雀を始めていた方々だと思います。学業同様、麻雀にも真剣に取り組み、しっかり両立させて無事卒業された方々ばかりです。でも当時を思い返すと、大学はメンツ（麻雀用語でメンバー）合わせの場所程度で、大隈さんの前に陣取ってメンツの誘い込みを凶ったり、代返を頼んだりしていた人達がいましたよね。そんな人も当会には多分に混ざっていますね。そういう目で今一度麻雀部会の面々を観察ください、「なるほど…なるほど…」ですよ。

麻雀は奥深い遊びでルールが複雑、4人の利害が直接交錯する一触即発とても危険なものなのです。ですから個人の性格がそのまま表れて、あのひと麻雀の席に着くと人が変わるのよね…なんて方がおられたり、

強気・強気で押しまくる方がおられたり、飲み屋に来ていると勘違いされている方がおられたり、さまざまな人間模様で楽しい部会です。

女性会員は6名おられまして、沈着冷静かなりの腕前で男性陣をきりきり舞いさせております。年会費1000円、当日会費2500円で毎月一回定例会を開催し、会費の中から優勝以下ブービーまで多くの賞を作り楽しんでおります。その他にも麻雀会を開催して親睦を図っております。昔少し嗜んだ方、初心者の方も気楽にご入会ください。

(国澤 俊一/記)

## ゴルフ

A) 2015年のゴルフコンペ日程は下記の通りです。

第82回世田谷稲門会	3月26日(木)	中津川CC
第10回稲門会・三田会	5月14日(木)	桜ヶ丘CC(稲門会主催)
第83回世田谷稲門会	6月3日(水)	都留CC
第84回世田谷稲門会	10月7日(水)	富士国際GC
第85回世田谷稲門会	12月1日(火)	桜ヶ丘CC

ご予定頂きますよう、ご案内致します。



B) 平成26年4回目のコンペが12月3日(水)54名の参加を得て桜ヶ丘カントリークラブで開催されました。

当日は時折強風が吹く快晴で富士山が綺麗な姿を見せ、その反対方向には西武球場ドームが間近に見え、東京西部のゴルフ場と野球場が近いことを再認識致しました。優勝は宮坂尚利さん、グランドシニア優勝は平井恒夫さん、シニア優勝は島田實さん、レディース優勝は井澤美知恵さんでした。

(工藤 隆司/記)

## カラオケ

■<月例会>毎月第一土曜日 13:00 ~ 17:00

BIGECHO 下北沢駅前店

参加費 2000円 飲物 2回ピザキャンデー付

第93回 12/6(10名)、94回 1/4(16名) 新年会後述、

95回 2/7(9名) 96回 3/7(11名)

■<新年会>1/4(日) マダムチョウの店で16名(写真)が得意なジャンルを熱唱。岩上前会長のリードで校歌斉唱する前に全員肩を組んで「誰か故郷を想わざる」を歌いました。



【リクエスト一覧表】♪ダニーボーイ・ダイアナ・祝い舟・芸者ワルツ・矢切の渡し・北帰行・悲しい酒・お前に・愛の賛歌・for you・ブルーライトヨコハマ・みだれ髪・バスタップ・夜明けのブルース・My way・糸・兄弟舟・あばれ太鼓・銀座カンカン娘・夜来香・なやみ・吉田松陰・津軽恋女・初恋・白い海峡・天城越え・ソーラン渡り鳥・旅の夜風・新潟ブルース・望郷酒場・千年恋慕・東京 VICTORY ♪

(倉田 豊/記)

## ウォーキング

平成27年1月11日(日)新春初歩きは町田駅午後1時集合の17名により、世話人の横山徹氏の案内により初詣を兼ねた鹿島神社、青柳寺、泉竜寺、町田天満宮を巡り町田市内に戻り、駅周辺のレストランで新年会を開催してお互いの健闘と親睦を深めました。

2月15日(日)のウォーキングは飯島勲氏の案内で池上駅午後1時集合の15名により、最初に池上本門寺を訪問し偶然居合わせた早稲田の先輩に江戸から昭和に跨る有名人達の墓地を案内してもらい、池上梅園では満開の紅白梅に迎えられて一同大いに満足しました。3月は成城学園駅から二子玉川コースとなりました。



4月から来年3月までの年間スケジュールとコース選定を作成しましたので、初めてウォーキングに参加したい方にも差し上げますのでご連絡下さい。

(江原 利次/記)

俳句

新春初句会は平成 27 年 1 月 26 日 (月)、桜新町区民集会所に日下野由季先生とメンバー 14 名が参加して、兼題の「読初」と季節に相応しい自由句 3 句を持ち寄って開催されました。尚、2 月の兼題は「梅」、3 月は「桜」で俳句作りに挑戦しました。



読初めのひと日炬燵に方丈記	田中 勝	天空の凧一点に止まりぬ	沼田宣子
爪ほどの羊毛つきの賀状来る	松尾 守	読み初めや父の書棚の三段目	榎並俊一
読初めや陳舜臣の論語抄	暮田忠雄	読み初めの重き新聞届く朝	河村暉子
校庭に寄り添っている蔭の臺	冨塚兆弥	休診の札ある医院梅の花	矢後勝洋
年の豆枿に溢れて白寿かな	家井雪子	新弟子の四股踏む様や白き梅	江原利次

(江原 利次 / 記)

食べ歩き

第 63 回 (26 年度第 3 回) 例会報告

第 63 回例会は、平成 27 年 2 月 26 日 (木) 新宿区神楽坂フレンチレストラン「ラリアンス」にて開催した。

当会場は今回で 2 回目の開催ではあったが、料理が美味しい、雰囲気が良い、交通が便利等々、結婚式会場としても多く利用され、好評であり当日の悪天候にも拘らず 43 名と前回を上回る参加者があった。

冒頭、昭和 25 年卒の前原祖彦氏による乾杯の挨拶により宴は開かれ、初参加者の紹介等々があり、当店自慢のフランス料理を満喫し、懇談後、参加者全員の写真撮影を経て、会を終えた。

なお、お土産として、当店自慢の特製パンが配られた。

次回は 5 月 23 日 (土) に開催予定で会員には追って連絡する。

(加藤 隆夫 / 記)



スポーツ観戦

・新世話人のご紹介

小林昭一郎氏 (昭 41 政経、現在玉川会の代表世話人) 現世話人の川村保夫氏が病気療養中のため、スポーツに詳しい小林氏に就任いただきました。

現担当世話人；岩上健一、川村保夫、小林昭一郎、岸田正和、監査役 熊本昭二

・今後の予定

1. 野球 早慶戦

(春季) 1 回戦 5 月 30 日 (土) 神宮球場

2 回戦 5 月 31 日 (日) 神宮球場

(秋季) 未定のため別途ご案内します。

2. ラグビー 早明戦

現在、期日・会場ともに未定のため決定次第別途ご案内します。

(岸田 正和 / 記)





## 釣り

静の釣り、動の釣り、孤独を楽しむ釣り、仲間との団欒の釣り。海、川、湖、溪流の釣り、そして美味新鮮なる魚料理を堪能出きる楽しみ、知人、先輩に差し上げる喜び。人生釣りを知らずに老いるなかれ。もったくない。1年中釣りを忘れることの無い毎日を送っています。釣りに行く前から釣った魚の料理方法、旬の魚の味わい方を考えるだけでもぞくぞくしてきます。

是非釣り部に初心の方でも入会し、参加してください。下手ですが、どんな釣りにでも助言出きる釣り歴75年の小生です。昨年は溪流釣りを除いて船の沖釣の、キス、アジ、ヤリイカ、カワハギ、鯛。川の、真鮎、テナガエビ、ハゼ、ヤマベ釣りが不漁でした。溪流は小生単独釣行で30cm以上11匹、45cm岩魚、ニジマス3匹が出ました。

11月27日ヤリイカ0~2杯、30日カワハギ7~13匹、その後のカワハギも0~4匹。京浜運河夕やけなぎさの岡釣りハゼも小名木川の落ちハゼも不漁でした。

12月の寺島氏江戸川下流の落ちハゼのボート釣りは20匹以上の好漁だったようでした。冬のメジナ、舞鯛磯釣りも不漁。

3月1日溪流釣り解禁され、狩野川上流の地藏堂川に入溪、釣り師多くポイントに入れなかったが、やっと30cmの虹鱒1匹釣る。雨の中ほとんどの方がボウズでした。7日再度地藏堂川へ4:30入溪する。朝の雨でやや増水であったが何とか5匹の黒川虫を取ることが出来、解禁日と異なり誰も居らず静かに釣りに専念できた。釣果は36cm、32cmの岩魚、30cmの虹鱒1匹を1時間で釣ることが出来た。柴田単独釣行。

春の真鮎は3月31日霞ヶ浦細、真鯛は3月29日、4月26日、5月24日、ヤマベ釣りは鶴川で5月9日です。

(柴田 昇 / 記)

## 将棋・囲碁

(囲碁部)

平成27年1月31日(土)~2月1日(日)、ふじみ荘で豊島稲門会囲碁部14名を迎えて総勢26名で囲碁会を実施しました。豊島稲門会は女性会員が5名も参加され、とても活発に活動されているようです。

また、新しく入部された最高齢93歳の岩佐さんも参加され、和気あいあいの中で対局を楽しみました。

(榎並 俊一 / 記)

(将棋部)

世田谷稲門会の将棋愛好者は非常に少なく中村晃二さん、飯田保則さん、薄井好夫さんに柴田の4名しかわかりません。3月22日に第10回オール早稲田将棋祭が大久保地域センターで9時30分から行われました。飯田さんはBクラスで3年連続で優勝されています。いま飯田さんの経営している用賀駅前の麻雀屋鈴やで中村さんと将棋の勉強会をやってます。1日500円です。是非愛好者をご参加ください。

(柴田 昇 / 記)



## 写真

写真部会の紹介 (会員は15名)

写真を撮り「作品に仕上げたい」と思われる方は、自分でプリントする事が一番重要です。例会では全員がA4サイズ以上にプリントした作品を10~20枚を白板に貼って披露致します。画像の映写では分からない、色彩の変化、解像度の凄さ、奥行き感ある描写がはっきり分かり、勉強になります。参加者の作品と見比べる事が撮影技術とプリント技術をレベルアップします。撮影ジャンルは問いません。デジタル技術やプリントの方法はお教えします。見学歓迎です。

(種谷 鴻成 / 記)

## 芸術芸能鑑賞

厳冬が予想されていたので、1、2月の案内を避けていたが、一番人気の落語は別格で平成27年1月28日(水)の三越落語会に12名、3月22日(日)のポピュラーミュージック(日比谷公会堂)に5名が参加した。3月26日(木)の落語会には12名が参加。今後の案内はアンサンブルトウキョウの定期演奏会4回分、4月25日の岡村喬生さんの「冬の旅」を案内した。5月、6月は歌舞伎と文楽などを予定している。入会者が増えて46名を数える。

(鈴木 宏治 / 記)

# 会員の広場

## オリンピックとNHK技研

中井 盛久 (昭34政経)



世田谷の砦にNHKの技術研究所があることは大方の人が知っている。だがいつ頃から、どうして砦に研究所ができたのか知る人は少ない。

私は1959年から約40年間NHKに奉職し、年に数回はここを訪れ、内外の来訪者を案内した。皇太子時代の天皇皇后両陛下を御案内したこともある。

NHKがラジオ放送を始め、世の注目を集めるのは1925年。それから5年後には早くも研究所が創立された。これは10年後の1940年オリンピックの開催が東京に決まったので、新しい放送方式の研究をはじめたためだった。日本のテレビの父と言われた高柳健次郎博士を所長に招き、研究開発に力を注いだ結果、

かすかに電子映像が映し出される所まで開発が進んだ。その先端技術の研究の礎が砦である。しかし太平洋戦争前の国際情勢の悪化で、東京オリンピックは中止、幻となった。

一方、オリンピックと放送の歴史に目を転じると第1回の近代オリンピックがアテネで開催されて以後、日本の初参加は第5回ストックホルム大会。その後第9回アムステルダム大会で三段跳の織田幹雄選手が日本人初の金メダルを獲得した。次の1932年のロサンゼルス大会で初めてNHKから3人のアナウンサーが派遣された。実況放送はまだなく、実感を込めた放送が電波に乗った。第11回ベルリン大会はヒットラー主導で行われ、あの有名な「前畑頑張れ」の放送が実況中継で実現した。他の日本選手の活躍も目覚ましく、五種目で金を獲得した。戦争で中断していたオリンピックが復活したのが1948年のロンドン大会。次のヘルシンキ等を経て、1964年に第18回東京大会が実現した。この時はじめてカラーテレビの映像が全世界に配信された。前年に、ケネディ暗殺のニュースを伝えた

ことで知られる放送衛星の打ち上げに成功したからだ。此の放送衛星の大半の技術は砦の技研で生まれた。次の東京オリンピックに向け、技研の新たな奮闘を期待している。

## ラジオ体操と俳句

矢後 勝洋 (昭40政経)



長い会社勤めを終え、私が東京に戻ったのは一昨年夏でした。地方に単身赴任していた私は、東京に知己も少なく、退職後はさて、どう暮らせばいいものか、心配しておりましたが、案ずるより産むが易しで、いまでは結構忙しくしています。

退職後に始めたものに、毎朝のラジオ体操と俳句づくりがあります。七十代の私にとつて、年相応の暇つぶしです。自宅のマンションのすぐそばに馬事公苑前けやき並木があります。毎朝6時半になると、四、五十人の男女が集まってきて、ラジオの放送に合わ

せて、10分間体操します。世田谷区内には同様のグループがたくさんあるようですが、ここは多いときには100人ちかくなり壮観です。

冬の間、まだ暗いうちに起き出し、寒さのなかで体操するのは、なかなかたいへんですが、春がめぐってくると、澄んだ朝の空気に包まれて体を動かす爽快さは、他にかえられません。体操のおかげで、現役時代の夜型から昼型へ生活リズムが替わり、持病の腰痛もかなり収まってきました。

ところで、私は、退職後の翌月、ある文化センターの俳句講座に飛び込みました。なぜ俳句なのか、というと、四十代なかばまで新聞記者だった私は、文章表現に多少は自信もあつたし、またなにか書いてみたい、という潜在意識があつたのだと思います。

しかし、俳句の勉強を始めて、自分の無学さを思い知らされました。日本語を知らない、漢字を知らない。恥ずかしいながら「家苞」「淑氣」「小半」などという言葉の意味も漢字も知りませんでした。現代の俳人の作品を読むにも電子辞書なしでは進まない。花の「バラ」は、俳句では「薔薇」で

なくてはならず、これを書くにも辞書のお世話になる始末です。

俳句の世界は誠に奥深いものがあります。芭蕉以来、延々と四季に対する美意識と日本語の表現力を磨いてきたのですから。世田谷稲門会俳句部会にも参加させてもらっていますが、初学の私には、自分の句がこの一年半余で良くなってきたのかどうか、それさえ心もとない状況です。

先日、句歴の長い同じ講座のご婦人が、「六十歳過ぎの習いごとは結果を求めてはならない」と自戒を込めて話していました。まったくその通りですね。最近になって、私も気が負いが少し取れてきたようです。これからは、頭の体操のつもりで楽しんでいきたいと考えています。

## PHP友の会

小倉 光雄 (昭34法)



PHPってご存知ですか？これは、新興宗教ではありません

せん。

PHPとは「PEACE(平和) and HAPPINESS(幸福) through PROSPERITY(繁栄)」の頭文字をとったもので、「物心両面の調和ある豊かさによって、世界の平和と人々の幸せをもたらそう」と松下電器(株)(現パナソニック)の創業者松下幸之助氏が提唱した理念であり、衆知を集めてその社会の実現への方策を見つげるために、PHP研究所が創設され、1947年には月刊誌「PHP」が創刊されました。

このB5判小雑誌は、本屋は勿論たまにコンビニでもオスクにも置いてあるので、一度は手に取って見たことがあるのではないだろうか。内容は、テレビなど様々なジャンルで活躍している方々の話や読み切り小説に感銘や感動を覚えることが多く載っています。一冊僅か205円なので、是非買って読んで見ることをお勧めします。

PHP誌の読者による読書会が、北は北海道から南は九州・沖縄まで自然発生的に全国各地で行われるようになり、PHP研究所が昭和46年(1971年)PHP友の会事務局

を開設し、「素直な心になりましょう!」をスローガンに友の会結成の呼びかけと活動の支援を始めました。現在168の友の会が登録されており、松下幸之助氏の人生哲学・経営哲学を勉強したいと台湾、韓国にも友の会があり、台湾、韓国では毎年国際交流会が開かれています。「素直な心」は、私心なく曇りのない心、物事をありのままに正しく見ることのできる心で、何が良くて何が悪いことか、善悪の判断ができるといわれています。

最近、残虐な殺人事件が各地で頻繁に起こっている。海外では「イスラム国」というテロ集団にヨルダンのパイロットや日本人二人が殺害され、また川崎市の多摩川河川敷で中学1年の男子生徒が少年不良仲間と首を刺されて殺害された事件も記憶に新しい。こういった残虐な事件がなくなり、平和で幸せなPHP社会の一日も早い実現が望まれます。



### 記者の目 部会裏探訪

今年世田谷稲門会の会員増強活動が行われる。

前回の会員増強活動で訪問勧誘を行ったが、その経験で感じたことを述べたい。

世田谷区在住で会員となっていない方の住所氏名を事務局が大学の校友課から入手する。勧誘文書の送付もするが、入会勧誘対象の名簿をもとに各ブロック会では対象者を住所に応じてグループに分け、ブロック会員にその住所等に配慮し、グループを分担してもらい訪問勧誘活動も行った。

この際、氏名の読み方が分かるといいと感じた。名字についていえば簡単な字でも読み方が違い、読み間違えると大変失礼になる。また名前もきちんと読めない訪問した時どなたに会おうとしているのかうまく言えず、とまどふことになる場合もある。

名字については、易しい字であっても正確に読むにはかなり難しいものがある。

まず「河野」は「コウノ」か「カワノ」か。かつてある大学教授で「河野」という方がおられ

たが、本来は「カワノ」であったが、世間では「コウノ」先生と呼ばれていた。ところが所属大学の学長になられたときに、本来は「カワノ」だが、今後は「コウノ」にするとして、手続をとられたと聞いたことがある。

「小山」は「コヤマ」か「オヤマ」か。家康が上杉征伐の指揮をしていたとき、石田三成が反旗を翻した。その対応のため評定が行われたのが下野の「小山」であった。これは「オヤマ」である。

「羽生」は「ハニユウ」か「ハブ」か。フィギュアスケートの羽生結弦は「ハニユウ」であるが、将棋の羽生善治は「ハブ」である。

「水上」は「ミナカミ」か「ミズカミ」か。作家の水上勉は「ミナカミ」といわれていたが本来は「ミズカミ」であり「ミナカミ」はペンネームであると言われている。これらの他に「上村」は「ウエムラ」か「カミムラ」か。「米田」は「ヨネダ」か「コメダ」か。などがある。

今回の会員増強活動は120人増の600人会員を旨とする活動である。目標達成を旨としてがんばりたい。

(稲男/記)

## 新入会員募集キャンペーン実施中!!!

目標 ; 120名増加 会員 600名

詳細は世田谷稲門会ホームページを参照ください。

<http://setagayatou.mond.jp/>

世田谷稲門会 会員異動状況 平成27年2月28日現在

〔新入正会員〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	FAX
中野 博幸	昭55	政経				
奥村 盛	昭62	理工				
久保田 悟	昭62	教育				
荻野 健司	平10	法				
増田 義彦	昭56	政経				
坂井 宏彌	平3	教育				
藤井 大二郎	昭42	政経				
濱野 千鶴子	昭50	教育				
荒居 隆二	昭32	政経				
尻無浜 優	平18	法				

個人情報につき不掲載

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	理由	備考
大里 進一郎	昭38	商		
柴野 恵子	昭52	文		
奥田 一志	昭53	商		
田村 尚	昭37	文		
中瀬 正一	昭24	商		
河野 守	昭34	商		

〔入会準会員〕

正会員名	準会員名	理由	備考
木村 滋	木村 凌子		

〔退会準会員〕

正会員名	準会員名	理由	備考
田村 尚	田村 紘美		

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所等	電話	備考
矢田 廣	昭34	法				
矢後 勝洋	昭40	政経				
久保田 浩章	昭60	理工				

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			
			メールアドレス	電話	FAX	その他
松尾 守	昭35	文				
井口 昭	昭48	商				
井口 亜由子						
井出 好亮	昭44	商				
高橋 四郎	昭45	社会				
吉岡 精一	平9	理工				

事務局からのお願い:

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話&ファックス 03-3305-4650  
e-mail; shinoshoko@gmail.com

編集後記

戦後70年の特別企画として「終戦前後の早稲田と私」を連載することになりました。

世田谷稲門会には90歳以上の方々が数名おられ、学徒出陣など戦争に直接かかわってこられた方も多くおられます。この中から3〜4名の方にインタビューをし、その体験談を掲載することにしました。

第1回は角田真一郎さん(昭22高師)です。前途ある若者が数多く散って行ったことが伝わってくる内容です。第2回は会報59号で岩佐保さん(昭21政経)の予定です。

世田谷稲門会会員の三分の一は戦後生まれで、戦争の記憶がない方々は半数以上と思われます。早稲田の学生がどのように戦争と関わってきたのか、貴重なお話を聞くことができ、あらためて戦争を見つめ直す良い機会だと思えます。現実には世界のあちこちで戦争やテロが起きており、日本人が巻き添えとなった事件も記憶に新しいものです。

いつの日か戦争のない地球が訪れるのでしょうか。

(榎並 俊一/記)